株式会社 北九州銀行

丸菱不動産株式会社の「SDGs経営立ち上げ支援サービス」利用による 『SDGs宣言』策定について

北九州銀行(頭取 嘉藤 晃玉)は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs 経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGs に関する取り組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、 $\mathbb{S}DGs$ 宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、 $\mathbb{S}DGs$ 宣言』を策定されたお客さまについて、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

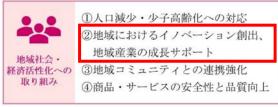
1. 企業概要

企業名	丸菱不動産株式会社
所在地	長崎県佐世保市谷郷町4-3
代表者	下津浦 正明
業種	不動産賃貸業
URL	http://wellive-marubishi.com

※丸菱不動産株式会社の『SDGs宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべき ESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。





役職員全員の 働きがいへの 取り組み ⑧人材育成・研修機会の創出⑨安心・安全な労働環境作り

⑩多様な人材の活躍

(ダイバーシティ&インクルージョン)



環境保全への 取り組み ⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応

⑦環境に配慮した商品・サービス開発



強固な 経営基盤づくり への取り組み ⑪ガバナンス体制・内部統制の強化⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当:清水 TEL:083-250-6411 株式会社北九州銀行 事業性評価部 担当:新田 TEL:093-513-5393



丸菱不動産株式会社 SDGs宣言

当社は、「誠実・迅速・決断」という経営理念のもと、

事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、

地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2024年4月1日 丸菱不動産株式会社 代表取締役 下津浦 正明

重点項目(ターゲット2030)

幸せな暮らしの創造

お客様の幸せな暮らしを創造する企業として、安心・安全・快適な不動産をご提供いたします。これからも長く住み続けられるまちづくりを目指し、より質の高いサービスの提供に努めてまいります。

【主な取り組み】

不動産売買・賃貸にかかる顧客重視の提案、 アフターフォローの充実、事故発生時の行動手順整備、 外国人技能実習生への住居提供







生き生きと働ける職場づくり

経験や属性に関わらず、多様な人材が生き生きとやりがいを持って働ける職場づくりに努めます。社員とその家族の生活を重視した、ワークライフバランスの実現に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

ハラスメント相談窓口の設置、ハラスメント研修の実施、 長時間労働の是正、障がい者雇用の促進、 資格取得支援









環境に優しい事業活動

太陽光発電事業や空き家対策事業など、環境負荷 低減につながる事業を強化いたします。社員への環境 に対する意識醸成を図り、全社で循環型社会の実現 に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

太陽光発電事業の展開、建物の循環利用促進(空き家巡回・維持管理サービス)、再生エネルギー関連セミナー受講、電気自動車の導入、照明設備のLED化









地域との共栄共存

地元に根差した企業として、地域の課題解決や活性 化に寄与する活動を継続してまいります。これからも、 お客様からの信頼にお応えし、地域と共に発展し続け られる企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

ステークホルダーとの連携強化、災害時の体制整備、 地域行事やボランティア活動への参加、

事業継続計画(BCP)の策定





SUSTAINABLE GOALS















「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、 持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決 すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。